

「市民の駅“〇〇”」の 駅長さんになりませんか？



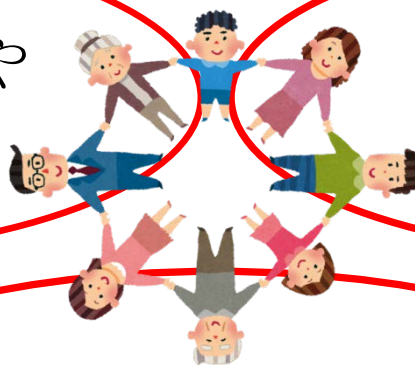
チーム★ACSA

Akita Community Station Association

「市民の駅“〇〇”」とは？

- 商店や宿泊施設が運営主体
- 観光客やビジネス客へ地域の見所や情報を提供
- 運営協議会が「市民の駅“〇〇”」の認定・全体調整

人と人との出会いや
交流の場



観光客への
きめ細やかな案内

地域の活性化

現状と課題

(1) 「道の駅」「まちの駅」など観光拠点が少ない

秋田市内・・・道の駅1か所、まちの駅2か所

(2) 観光客の多様なニーズに対応しきれない（広く浅く）

「県内観光で情報提供に満足」な観光客の割合

37.6% (H24) → 42.9% (H26)

－県観光戦略課資料

現状と課題

(3) 地域活性化が必要
(人口減少と高齢化、商店街が寂しい)

- ・ 市内年齢別人口の割合

総人口 333,109人 (H17) → 316,808人 (H27)

65歳以上 21.1% (H17) → 28.1% (H27)

－市情報統計課資料

- ・ 市内商店街連盟の団体数と加盟会員数

団体数 35団体 (H17) → 31団体 (H27)

会員数 1,626店等 (H17) → 946店等 (H27)

－秋田商工会議所資料



課題への対応

(1) 「道の駅」「まちの駅」など観光拠点が少ない

- ➡ 市内で独自の認定基準をつくり気軽に旗揚げ
- ➡ 既存商店・宿への公募で費用を最小限に

(2) 観光客の多様なニーズに対応しきれない（広く浅く）

- ➡ 地域単位で地域密着情報を提供（せまく、深く）

(3) 地域活性化が必要（人口減少と高齢化、商店街が寂しい）

- ➡ 身近な地域での連携や県外客との交流で活性化
- ➡ 高齢者が社会的役割を持つのは介護予防効果



課題解決のため、
「市民の駅“〇〇”」を作ります！



地域の窓口になります



きめ細やかな まち案内で
“おもてなし”します



ひと・まち・情報のテーマをつなぐ
地域の活動拠点になります

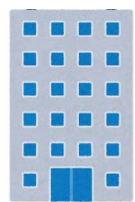
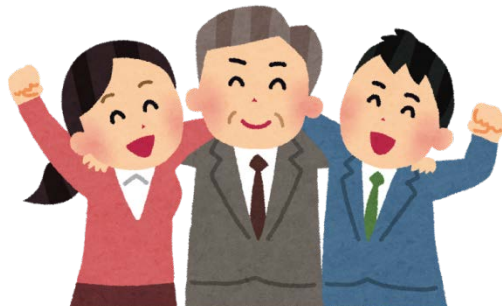
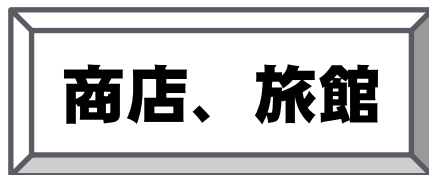


運営体制

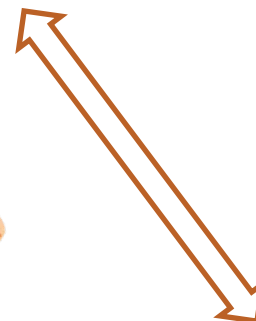


(駅の運営・駅長)

- まち案内
- 地域の手作りマップの作成
- 得意とするものを提供



(全体の調整)



(連携)



- 駅長の公募
- 市民の駅の認定
- 勉強会・交流会の開催

- 既存機関との連携構築
- 地域団体との共同企画
- イベント情報の発信

効果と将来



地域への愛着

コミュニケーション、
情報交換の場

マーケティングや
販路開拓のきっかけ

転入者も入り込みやすい場

独自性のある
地域づくり

多彩な催しの開催拠点



おわりに

～道をひらくことへの想い～

いの道もなほ
とらぬまじり
危なき道も
踏み出せば
その道も
その道も
迷わずに
行けばわかるよ

清沢哲夫・作「道」

